椎葉村 舗装の個別施設計画

（暫定版）

平成２９年３月

目　次

1. 舗装の現状と課題

1.1　管理道路の現状

1.2　舗装修繕予算の現状

1.3　舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1　舗装管理の基本方針

2.2　管理道路の分類（グループ分け）

2.3　管理基準

2.4　点検方法・点検頻度

2.5　使用目標年数（分類Ｂの道路）

3. 計画期間

3.1　計画期間

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1　診断結果

1. 舗装の現状と課題

1.1　管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		Ａｓ舗装	Ｃｏ舗装	
１級村道	４５ｋｍ	２７ｋｍ	１ｋｍ	６２％
２級村道	５２ｋｍ	４２ｋｍ	２ｋｍ	８５％
その他村道	３８７ｋｍ	１２７ｋｍ	７０ｋｍ	５１％
小計	４８４ｋｍ	１９６ｋｍ	７３ｋｍ	５６％
林道	２２９ｋｍ	１４５ｋｍ	１ｋｍ	６４％
合計	７１３ｋｍ	３４１ｋｍ	７４ｋｍ	５８％

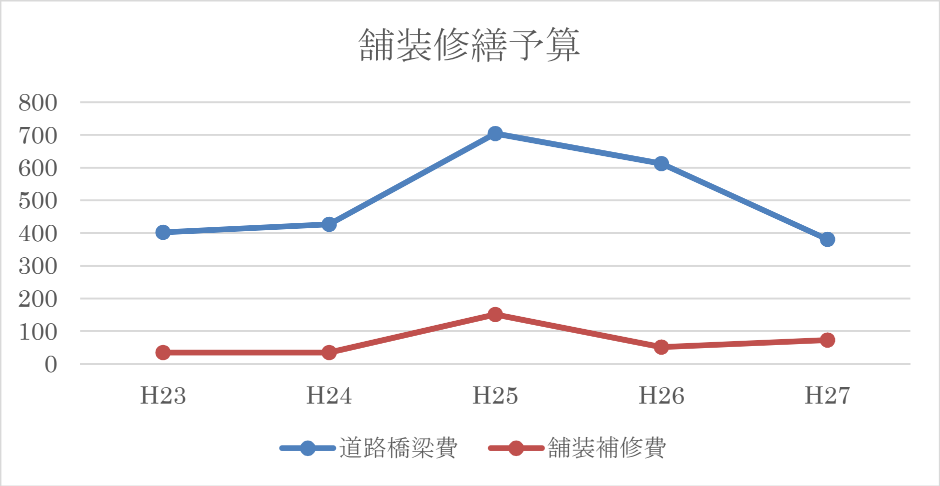
※Ａｓ舗装に簡易舗装を含まれる

(2) 平均交通量

道路区分	平均交通量	うち大型車	
		平均交通量	混入率
管理道路全体	３００台／日	５０台／日	１７％

1.2　舗装修繕予算の現状

・道路予算のうち舗装修繕予算は減少傾向にあり、平成２７年度はピーク時の１／２まで減少



1.3　舗装の現状

「１・２級村道及びその他村道のうち重要路線」（Ｌ＝４８４ｋｍのうちＬ＝１５２ｋｍ）については、Ｈ２４・２５に路面性状測定車を用いて調査を実施しています。この調査で、約４６％（約７０ｋｍ）の道路で修繕が必要と判断されています。その他村道で人家までの村道は、延長が膨大で、かつ車両の通行が少なく、損傷スピードが遅いため路面性状測定車を用いた調査は必要ありません。したがって、日々の職員パトロールによる目視や住民からの通報で損傷を発見し、その都度修繕を行っていきます。

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1　舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指す

2.2　管理道路の分類（グループ分け）

・大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Ｃの道路	１級村道、２級村道
分類Ｄの道路	上記以外の道路

2.3　管理基準

ひび割れ率	わだち掘れ量	ＩＲＩ	・・・
４０％	４０ｍｍ	８ｍｍ／ｍ	・・・

2.4　点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Ｃの道路	目視点検	５年に１度
分類Ｄの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

2.5　使用目標年数（分類Ｂの道路）

・該当無し

3. 計画期間

3.1　計画期間

・当該個別施設計画の計画期間は、５年とする

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1　診断結果

・平成２５年度に点検した１５２ｋｍの診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	
			Ⅲ－１	Ⅲ－２
分類Ｃの道路	２０㎞	１４㎞	２６㎞	
分類Ｄの道路	２３㎞	２５㎞	４４㎞	